立命館大学国際言語文化研究所「ジェノサイド×奴隷制」研究会
〈特別企画〉

ヘイトの来歴をさぐる〔第２回〕

二年半後の９月１日、私たちは関東大震災の大惨事のなかで、被災者でもあった日本人が、「自己防衛」の名の下、多くの外国人やアナーキストを「人災の被害者」に変える加害者となった忌まわしい出来事から百年目を迎える。

こうした「行動」の背景には、確実に、それを容認する「言説の構造」があり、そうした言葉をもてあそぶ「煽動家」がいた。

基本的に「ジェノサイド」は、こうした構造の中から生まれ、みずから手を下さないまでも、それをサポートする不特定多数の民衆が確実に存在した。

本企画は、1923 年 9 月の「ジェノサイド」を相対化するのではなく、その他の「ヘイト言説」が「大量殺人」を引き起こしてしまった数々の事例をまるごと「人類史」の「恥ずべき遺産」としてふり返るためのブレインストーミングをめざすものである。

今回は、12 月の初回に続け、『九月、東京の路上で／1923 年関東大震災・ジェノサイドの残響』（ころから、2014）が話題を呼び、『TRICK トリック：「朝鮮人虐殺」をなかったことにしたい人たち』（ころから、2019）によって、この間の「ヘイト」の高まりに立ち向かおうとされている加藤直樹さんをお招きし、原佑介さん（立命館大学客員協力研究員）がコメントをつとめる形での開催を準備中です。

日時：2021 年 3 月 9 日（火）14:00-17:00
場所：立命館大学衣笠キャンパス末川記念会館第 3 研究会室
＋ZOOM（オンライン）

司会・趣旨説明：西成彦

平素から差別的なまなざしを日本人庶民のなかに感じてはおられたのでしょうが、そんな日本人がまさか目を血走らせ、竹槍をもって襲いかかってこようとは思ってもおられなかったあなた方の、恐怖と、絶望に思いをはせながら、#私は追悼します （twitter by 西成彦 2020/09/01）

参加を希望される場合は、「対面」「オンライン」の別を記入し、下までご連絡ください。
お問合せ hidedoi@fc.ritsumei.ac.jp 土肥